

2004.9月号

NIPPON GOOD PARTS

No.161

NGP NEWS

新潟・北陸
豪雨水害

NGPグループが現地に水害車引取りの対策本部を設置

被災地の早期復興を願い、 水害車の引取り体制を早期に構築!!

7月13日に新潟を襲った集中豪雨によって、堤防が決壊、新潟県三条市を中心に大規模水害が発生した。NGPグループでは、損害保険会社等から要請を受けて、直ちに現地に水害対策本部を設置し、水害車車輛の引取り体制を構築した。

また、7月18日に発生した福井県を中心とした集中豪雨による水害に対しても、同様に対策本部を現地に設置して、水害車車輛の引取を開始した。

北関東ブロックのメンバーを中心に 水害車の早期引取り体制を構築

7月に相次いで発生した集中豪雨による大規模水害。大きなツメ後を残した被災地域では、現在もまだ、懸命の復旧作業が続いている。

そんな中、NGPグループでは、13日に発生した新潟県の水害に対して、損害保険会社等からの要請を受けて、同15日には現地に対策本部を設置、佐藤幸雄新潟水害対策本部長（㈱共伸商会）大谷弘同副本部長（銜黒崎部品）、木村邦明同副本部長（㈱サンブン）という北関東ブロックメンバーを中心に仮設本部事務所の設置、フォークリフト、キャリアカーの手配、引取車輛の保管ヤード（白根地域に1200坪、片貝地域に7000坪）の確保と水害車車輛の引取、応援体制を早期に構築し三条市から災害対策車輛の許可を受けて、7月18日には引取活動を開始した。

水害発生後も天候不順が続き、引取作業は難航したが、同ブロックのメンバーや近隣ブロックのメンバーが次々に応援に駆けつけ、7月29日現在、310台の水害車車輛の引取を完了した。

今後も150～200台の引取が予測され最終的な引取台数が約500台近くまで上ると

思われる。

佐藤幸雄新潟水害対策本部長は「以前、東海地方で発生した水害でも、NGPグループに水害車車輛の引取要請がありました。その時のマニュアルが生かされて、我々も非常に迅速に対応準備を進めることができ、水害車車輛の引取もメンバーの協力を得て、随時ローテーションを組んで作業を進められています。被災者の方々には、大変な思いをされ心痛お察しいたしますが、我々としてもグループを上げて、一日も早い復興支援に協力していきたいと思えます。」と語った。

福井にも水害対策本部を設置し、 迅速な対応を図る

同じく7月18日未明に発生した福井での集中豪雨による大規模水害でNGPグループは水害車車輛対策本部を設置し、津田隆二福井対策本部長（津田鋼業㈱）、佃正人同副本部長（銜ツクダ自動車）北陸ブロックのメンバーを中心に水害車車輛の引取作業に当たっている。

7月28日現在までに、74台の水害車の引取りを完了し、今後は230台前後まで、水害車車輛の引取を行う予定となっている。

自社も水害の被害を受けた津田隆二福井水害対策本部長は「県外からのボラン



災害地域へ水害車車輛の引取作業に向かうキャリアカー



新潟県の水害対策本部が設置された白根地区のヤード



福井県にも水害対策本部を設置。津田鋼業㈱に設けられた水害引取車車輛のヤード

ティアの方たちも復旧の応援をしてくれており、当社も少々の被害がありましたが、早期復旧することができました。被災地の復興支援のためにも少しでも早く水害車車輛の撤去に取り組んでいきたいと思えます。」と語った。

今後も両対策本部では、水害車車輛の引取に目処が立つまで、活動を続けていくとしている。

次代の自動車リサイクル業界を背負うリーダーを育成 NGPグループが第7回中級 研修会を開催!!

全国から47名のリーダー候補生達が参加
7月14日～7月17日 あいおい損害保険(株) 東富士センター

NGPグループの教育委員会は去る7月14日～17日の4日間の日程で第7回中級研修会を開催した。全国の会員メンバー各社から将来NGPグループの屋台骨を背負って立つリーダー候補生47名が参加し、「リーダー論」を学んだ。

中級研修は他の研修と比べて、かなり内容は高度なもので、合格試験も難しい。それでも、参加した研修生たちは限られた時間をいっぱい使って研鑽に励んだ。

目的は「リーダーの養成」人を動かし業績を上げる社員を育成する

今回で7回目を迎えたNGPグループの中級研修は、グループ各社の業務の柱となるフロント、生産、営業部門のリーダーを養成することを目的とした研修会である。

具体的には、

「人材育成力」を養う

「問題解決力」を高める

「マネジメント力」管理能力をつける

という3つのポイントに絞込み、人を動かし、業績を上げるリーダー力を養うためのオリエンテーションなどを交えた実践形式の講義などが行われた。



座学による自動車技術講習

4日間という短期間での研修会ということもあり、スケジュールもハードで、講義の内容自体も基礎研修会よりもかなり専門的かつ、実践的なものであった。

研修に参加した研修生は生産が27名、フロントが14名、営業6名の計47名。二班に分かれて、リーダーシップマネジメント研修を二日間、自動車技術講習を2日間を交代で夕方まで講習を受けた。

また、夕食後はそれぞれの部門に分かれての研修があり、講義は夜間まで続き、



研修を終えて受講生、講師の方々と全員で記念撮影



研修生自ら分解して部品の特性を学ぶ実技講習

本講義の始まる早朝5時30分から補講を行うなど、研修生だけでなく、講師の方々も一緒になって熱のこもった研修が最終日まで続いた。

「今回の中級研修では、自動車技術講習を含めて、非常に内容の濃い研修になっています。皆さん、それぞれの会社を代表してそれぞれの部門でリーダーとして期待されている人たちなので、しっかりと学んでいって、自社に帰って日々の仕事に落とし込んでいってほしいと思います。」と長谷川教育部長。今回は中級研修ということで試験も難しく、合格水準も高く設定しているので、研修生には是非、頑張りたいとエールを送っていた。

また、青木会長はNGPグループのこれからの発展には、中級研修の持つ意味がますます重要になると考えている。「NGP



研修生同士が上司と部下の役となって、ロールプレイング形式の講習も行われた。



リーダーシップ論の講義風景
テーマは仕事のマネジメントに

グループが今後ますますお客様に支持されていくためには、商品の品質を徹底して良くしていき、接客サービスにおいては、お客様に安心感を与え満足していただくことが重要になります。それは、全てのメンバーが実践していくことで、その中心となるのが今日、研修に来ているメンバー各社のリーダー候補生たちです。また、リーダーとなる方たちには、日々の業務以外に我々が担っている社会的責任に対しても皆さんが意識してもらって、NGPグループが目指すところというのを、この研修で学んでもらいたいと思います。」と語り、中級資格を含めた資格制度を明確化して、自動車整備士資格制度のようにNGPグループの研修で有資格者となった人たちにステータスとなる様な仕組み作りをしていきたいとしている。



最後の終了試験。4日間の研修の成果が試される。

自動車リサイクル法の解体業・破砕業の許可制度がスタート

NGPグループ会員各位も新たな気持ちで自動車リサイクル事業に取り組む!!

自動車リサイクル法解体業者、破砕業者許可制度が7月1日からスタートとなりました。NGPグループでは、会員各社が届出書類などの入念な事前準備を進め、万全の体制で制度開始日を迎えた。

青木勝幸会長は「NGPグループでは、自動車リサイクルに貢献する全国ネットワークとして、2002年1月1日にグループ環境方針を定め、その基本行動方針を基に使用済自動車の適正処理に取り組んできました。7月1日の許可制度の開始は、NGPグループ及び会員会社各位の新たな自動車リサイクル時代の幕開けの日であります。我々は新しい時代に向かって共

生を図りつつ戦略的集団へと変貌しなければならない時であります。」とコメントを出し、新制度の導入とともにNGPグループが改めて自動車リサイクル業界のリーダーとしての役割を果たすという新たな決意を語った。

自動車リサイクルシステムの事業者登録の早期取得も!!

また、自動車リサイクル法の事業者登録とは別に(財)自動車リサイクル促進センターが運営する自動車リサイクルシステムへの事業者登録も開始された。

こちらは使用済自動車の移動報告を行う際に使用する電子マニフェストや引取事業者が行うリサイクル料金の預託確認、預託実務を行う際に使用する資金管理シ

ステムを使用するために必要な手続きとなっており、自動車リサイクル法の引取事業者の登録、解体事業者、破砕事業者の許可を受けた事業者から登録可能となる。

NGPグループでは、会員各位に解体業者、破砕業者の許可が完了したところから順次、自動車リサイクルシステムへの登録を済ませるとともに、引取業者及びフロン回収業者の登録も行っている会員メンバーには、解体業者、破砕業者としての事業者登録だけでなく、引取業者、フロン回収業者としての事業者登録も遺漏なきよう今一度、点検され、すみやかに自動車リサイクルシステムへの登録を完了するよう周知徹底を図っている。

自整業も自動車リサイクル法 知っ得ゼミナール

第7回

預託金の納入方式について

今月号は、金融機関口座引落しによる収納概要について説明していきたいと思いますが、その前に先月号でお話した“郵便局口座振替”を利用したケースで、振替前の預託申請取消しについて質問をいただきましたので、若干補足をしておきたいと思います。

郵便局口座振替前の預託申請の取消しについて、郵便局口座振替を利用する場合は、既に説明したように預託申請日の4日後にリサイクル券の発行が可能となります。このため、

車検業務を考えると実際に自動車が入庫する前の時点で預託申請を行うことも想定され、さらには預託申請を行った後車検がキャンセルになることも想定されます。こうしたことを踏まえ、郵便局口座振替には預託申請の取消しが可能となっています。ただし、実際に口座振替が行われた後の預託申請の取消しはできませんので注意が必要となります。

・金融機関口座引落し

整備工場が預託金の収納方式で金融機関口座引落しを利用する場合、その工場が行う年間の継続検査台数の規模が200台以上であることが条件となります。

金融機関は都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合がそれぞれ利用できます。

金融機関口座引落しは、月に2回行われ、毎月1日～15日までの預託申請分が翌月10日までに、16日から末日分が翌月26日に引落しになります。そうすると月2回の請求案内が、収納代行業者の(株)ジェシービー(JCB)から送付されてきます。

この請求案内には利用期間の継続検査時等預託申請車両の合計振替金額が記載されているので、車両ごとの明細については、資金管理システムから検索して、確認をします。

また、請求明細書の裏面にはリサイクル料金」のほかに、資金管理人から整備工場に支払われる「取扱手数料」が記載されています。

この手数料は整備工場の収入となるので(車検時預託代行は1台230円)、会計上の処理を確実にすることが必要となります。

以上が預託金の収納方法で金融機関口座引落しを利用した場合の概要となります。

この金融機関引落しは、リサイクル料金の収納方式の中でも、非常に効率的なものであるため、整備工場としても利便性が高いものと言えます。

次回からは、リサイクル料金の預託代行と並んで、整備工場の役割となる使用済自動車の引取業者に登録した時に行う、電子マニフェストを使った移動報告の内容について説明していきたいと思ひます。



時代が求めるリサイクルパーツを、 全国ネットのNGPグループが、お届けします。

使用済自動車の適正処理は、NGPグループ加盟店にお任せください!

「リサイクル部品活用推進店」として仲間の輪に加わりませんか!

- ・ NGPグループは、産業廃棄物処理許可資格を有している国内最大の自動車リサイクル事業者ネットワークです
- ・ 全国どの地域でも使用済自動車の引取・適正処理に対応いたします
- ・ 当グループが生産する高品質リサイクルパーツ(同年式純正部品)は、地球と人に優しい修理に貢献します

リサイクル部品活用促進啓蒙ツール

NGPグループでは、一般ユーザーにもっと自動車リサイクル部品のことを知ってもらい、活用促進につなげていくため、リサイクル部品について、目で見て分かりやすく、簡単に説明ができる啓蒙ツールを作成しています。NGPグループ商品を取り扱っている「リサイクル部品活用推進店」の自動車整備工場、板金工場などに無料配布して、PR活動を展開しています。



リサイクル部品活用推進店ステッカー



卓上三角スタンド



リサイクル部品説明用パネルツール(表)



リサイクル部品説明用パネルツール(裏)

リサイクル部品活用促進啓蒙ツールは上記の3つのアイテムをセットにして、NGPグループメンバーから整備工場様へ無料配布いたしております。(お問い合わせは、お取引のあるNGPグループメンバーまでお願いいたします。)

NGPグループ本部

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp>

株NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201